南部新消防庁舎整備基本計画（案）概要版

1　はじめに

基本計画策定にあたって

近年、大規模な自然災害の頻発や感染症への対応など、地域防災・消防の重要性が一段と高まっています。一方で、南部地域の消防活動を担っている江南分署と大里分署（いずれも昭和48(1973)年建設）は、老朽化や耐震性能の不安に加え、大里分署の浸水リスクへの対応が大きな課題となっています。

これらの課題を解決するため、両分署を統合し、さらに吉岡分団車庫を併設した新庁舎「(仮称)南部分署」の整備に向けた基本計画を策定しました。

※「南部新消防庁舎整備基本計画」本編に記載された内容について、要点を抜粋してまとめました。より詳しい内容については、本編をご参照ください。(1～8の各項目は、それぞれ本編の第1～8章に対応しています。)

2　基本方針と基本条件

整備基本方針

新庁舎の整備によって地域全体の安全・安心をより強固に支える新たな防災拠点を創出することを目指し、以下の「４つの整備基本方針」を軸に基本計画をまとめました。

① 住民の安全・安心な暮らしを支える拠点となる庁舎	・地震・水害に耐える優れた構造性能 ・ライフラインの多重化・冗長化 ・インフラ途絶時も機能を維持し、暮らしを支える
② 消防力の向上を図る庁舎	・消防・救急車両、資機材の充実 ・本部全体で活用する先進的・複合的な訓練施設 ・常備・消防団がともに高め合う訓練環境
③ 誰もが使いやすく開かれた庁舎	・訓練公開・講習会による防災学習・意識啓発 ・誰もが利用しやすいユニバーサルデザイン ・多様な職員が快適に勤務できる環境
④ 環境に配慮した機能的・経済的な庁舎	・自然エネルギー活用・高効率設備による省エネ ・機能的な諸室配置による初期建設費の抑制 ・可変性の確保によるライフサイクルコスト縮減

整備に係る基本条件

現在、江南分署は熊谷消防署に、大里分署は中央消防署に属しており、それぞれ19名の職員が所属しています。統合後の（仮称）南部分署は中央消防署に属し、職員数は38名となる計画です。また、それぞれの消防・救急車両はそのまま（仮称）南部分署に配置します。

消防活動拠点施設の基本的な考え方

南部エリアの消防活動拠点として災害活動の中心的役割を担うために必要な機能を総合的に整備します。

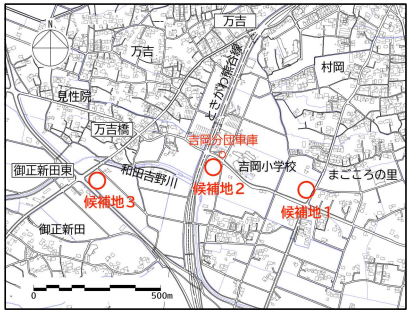
災害活動拠点機能
- 建築、設備の耐震化
- 機能的な消防車庫
- 効率的な出動動線
- 災害活動用資機材の備蓄

訓練活動拠点機能
- 建物火災の消火・救助・救急活動を実践訓練可能な訓練塔
- 消防ポンプ操法や部隊運用訓練等に対応した総合訓練場

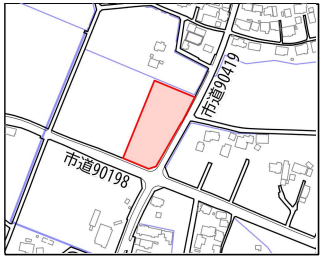
住民啓発拠点機能
- 研修会や講習会等に使用できる講堂兼会議室
- 住民向けの消火活動体験等が可能な消火訓練施設

3　建設予定地

統合後の管轄区域のほぼ中心となる吉岡地区を対象に、候補地を３か所に絞って比較検討し、村岡地内の候補地1(4,143㎡)を建設予定地として選定しました



最終候補地３か所の位置図



建設予定地(候補地１)付近見取り図

4　建築計画

庁舎計画

消防活動に関する機能の充実を図りつつ、様々な社会環境の変化に対応して、特に以下の５つの機能の充実を目指します。

感染症対象
- 救急消毒室・除染室の整備
- ワンウェイで完結する防疫動線
- 仮眠室個室化による職員間の交差感染リスクの抑制

執務環境及び待機環境の向上
- 職員の精神的・肉体的ストレス緩和に配慮した環境の構築
- 仮眠室の完全個室化
- 機能的な諸室配置

女性職員に配慮した環境の実現
- プライバシーとセキュリティに配慮した女性専用エリアの設置

出動動線の合理化
- 車庫と出動準備室(防火衣着装室)の直結・隣接配置
- 最短かつ直線的な出動動線
- 出動動線上の引き戸の採用

防災意識啓発拠点の実現
- 「市民防災学習拠点」の整備
- 研修会や講習会等に使用できる講堂兼会議室の設置
- 訓練や車両等の見学対応

諸室リスト

庁舎に設置する予定の室は以下のとおりです。類似の用途ごとにまとめたエリアを設定して、エリア単位でゾーニング計画を行います。

エリア	室名	エリア	室名
執務エリア	事務室、書庫、接客室、講堂兼会議室、給湯室	車庫エリア	消防車庫、出動準備室、資機材庫、救急備品庫、消毒室・除染室、滅菌室、洗濯室・乾燥室、バッテリー庫、ボンベ充填庫・保管庫、車両関係資機材庫、少量危険物庫
待機エリア	仮眠室、更衣室、シャワー・脱衣室、洗面所、女性専用エリア（仮眠室等）、食堂・厨房、トレーニング室		
共用部	倉庫、トイレ、エントランス、廊下・階段、エレベーター	分団車庫	分団車庫、待機室、トイレ、倉庫

屋外施設

消防・救助技術の維持向上を図る訓練施設を設置するほか、車両や人員の安全な動線を確保し、災害時にも機能を維持できる体制を担保するための各種附帯施設を合理的かつ機能的に配置します。

構造

敷地の条件・地域性、建物用途への適応性、施工性及び維持管理の経済性等の設計条件を考慮して、十分な安全性、耐震性、耐久性等の構造性能を確保した計画を行います。庁舎の耐震安全性の分類は、災害時の機能維持が特に求められる重要施設（救急、消防施設、医療施設及び役場本庁舎等）に求められるⅠ類とし、重要度係数(I)を1.5倍として構造設計を行います。

設備

災害時において、いかに庁舎機能を維持し続けられるかという点に特に留意して、設備方式の全体計画、機器の選択、配置計画等を行います。

環境配慮

電力等の一次エネルギー消費量の削減を図る「省エネ技術」、太陽光発電などの「創エネ技術」、維持管理等のライフサイクルコストの縮減を図る「LCC削減技術」を3本の柱とし、ZEB Ready（ゼロ・エネルギー・ビルの規準のひとつ）の達成を目指します。

ユニバーサルデザイン

熊谷市が定める「公共施設等総合管理計画」及び「個別施設計画」のユニバーサルデザイン（UD）推進方針に準拠し、利用者の年齢、性別、障がいの有無、国籍等に関わらず、誰もが安全かつ快適に施設を利用できることを目指します。

令和８(２０２６)年○月　熊谷市消防本部

南部新消防庁舎整備基本計画（案）概要版

5　配置計画と庁舎ゾーニング

施設配置計画

庁舎、総合訓練場、駐車場等の配置に当たっては、消防車、救急車等の緊急車両の出動動線を最優先としつつ、近隣への配慮や来庁者動線の安全性を考慮した計画を検討しました。



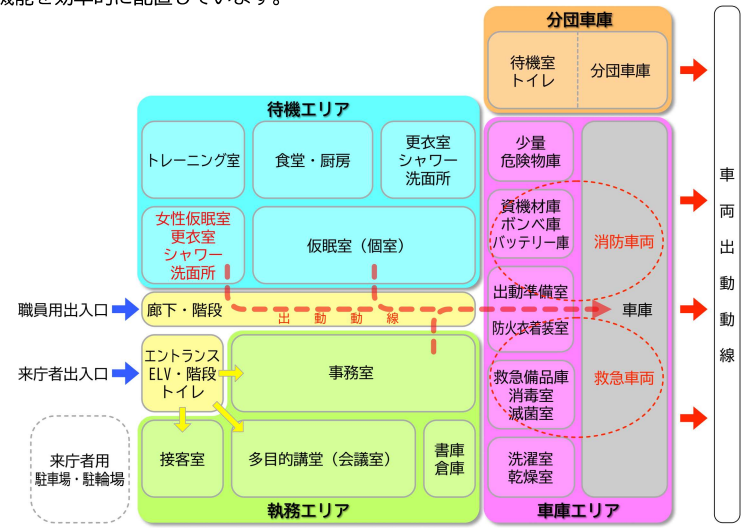
A案：車庫から東側の道路へ最短経路で出動することができる



B案：車庫及び車庫前のエプロンを訓練エリアの一部として利用できる

庁舎ゾーニング計画

必要諸室について、それぞれの機能や利用シーンを考慮して、「車庫エリア」「執務エリア」「待機エリア」「分団車庫」及びそれらを繋ぐ動線、トイレなどの「共用部」に分類し、庁舎のゾーン計画を検討してダイアグラム（模式図）に表しました。事務室や仮眠室などの出動待機エリアから車庫に至る出動動線を中心に、各機能を効率的に配置しています。



（ダイアグラムは各室の相対的な関係性を示したものであり、実際の位置関係や室面積を表していません。）

6　既存施設とその敷地

新庁舎に既存庁舎の機能を移転した後、各施設は速やかに解体撤去を行います。跡地利用については、地域のニーズや市の財政状況を考慮して、別途検討を進めていく予定です。

施設名(建築年度)	敷地面積	構造･規模
江南分署(昭和48(1973)年)	627.68㎡	鉄筋コンクリート造･2階建 延面積345.60㎡
大里分署(昭和48(1973)年)	758.34㎡	鉄筋コンクリート造･2階建 延面積345.60㎡
吉岡分団車庫(平成4(1992)年)	524.00㎡	鉄筋コンクリート造･平屋建 延面積71.78㎡

7　概算事業費とスケジュール（案）

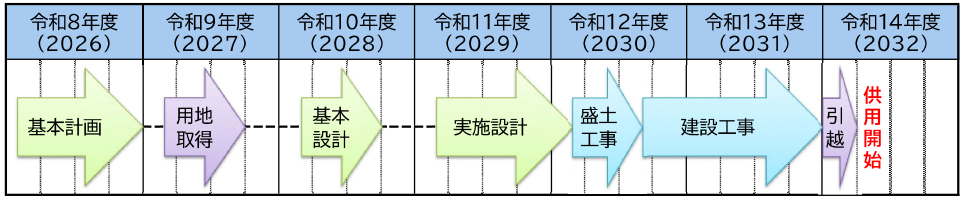
概算事業費

基本計画の段階での概算事業費は以下のとおりです。今後、基本・実施設計にて具体的な計画内容や構造形式を詳細に検討し、より詳細な事業費を算出していきます。

	種別	細別	金額(円/税抜)
1	建築工事費	庁舎棟･車庫棟･分団棟（RC造/1,400㎡）	1,066,000,000
2	建築工事費	訓練塔（RC造/240㎡）	72,000,000
3	解体工事費	江南分署/大里分署/吉岡分団車庫	95,000,000
4	外構工事	敷地造成(盛土)/舗装/雨水排水/擁壁/植栽等	100,000,000
5	設計費	基本設計/実施設計	80,000,000
6	設計費	解体設計	5,000,000
7	工事監理費	建築工事に係る監理業務	35,000,000
	合　計		1,453,000,000

事業スケジュール（案）

本計画を策定の後、令和10(2028)年度より設計（基本設計及び実施設計）に着手、令和12(2030)年度から翌令和13(2031)年度まで建築工事を行い、令和14(2032)年度中の供用開始を目指します。



8　事業手法

設計と施工を分離して個別に発注する従来型の事業手法に加えて、近年では設計と施工を一括発注する方式（DB方式）や、維持管理も含めた発注を行う方式（DBO方式）、さらには資金調達まで含めた発注方式（PFI方式）など、様々な事業手法が実施されています。

本計画においても、消防庁舎という施設機能の特殊性や、地域の事情等を考慮した上で、民間活力導入を含めた幅広い視点から、採用する事業手法の比較検討を行っていきます。

用語注：DB方式：デザインビルド（Design-Build）方式
DBO方式：デザインビルドオペレート（Design-Build-Operate）方式
PFI(BOT)方式：プライベート・ファイナンス・イニシアチブ（Private Finance Initiative）方式

令和８（２０２６）年○月　熊谷市消防本部